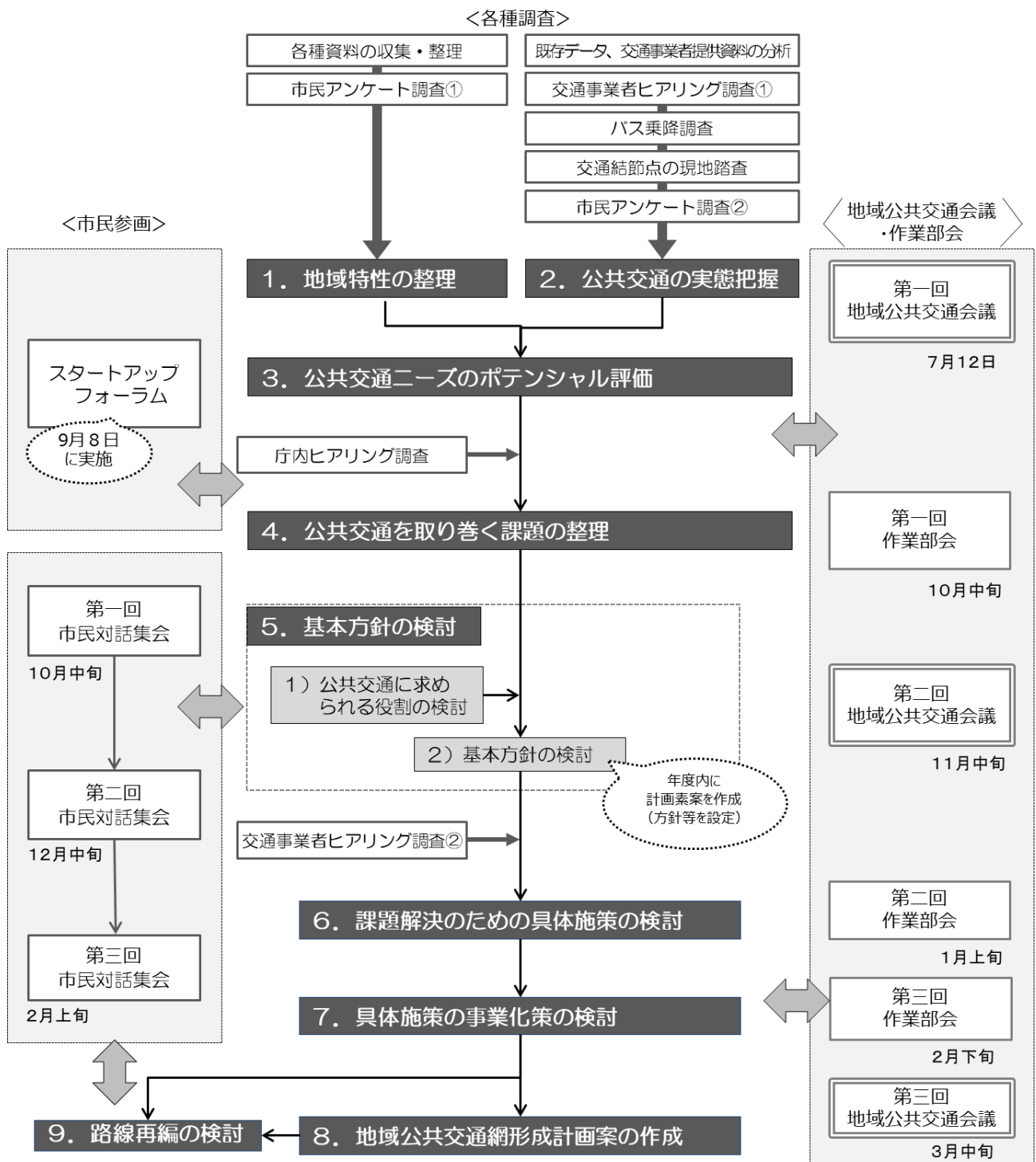


計画策定までの進め方

■ 業務フロー

- 「地域特性整理」及び「公共交通の実態把握」をもとに、地域ごとの潜在的な移動ニーズのポテンシャル評価を行い、本市の公共交通を取り巻く課題を整理します。
- ポテンシャル評価、課題の整理結果に基づき、公共交通に求められる役割を検討し、公共交通の基本方針を定めます。また、基本方針を基に、課題解決・目標達成に向けた具体施策とその事業化策を検討します。
- これらをとりまとめ、地域公共交通網形成計画を作成します。
- 地域公共交通網形成計画の作成と並行して、コガバスを中心に市内の公共交通の具体的な見直しについて検討を行います。
- 一連の業務は、地域公共交通会議及び部会で話し合いを行いながら検討を進めます。また、コガバスの路線見直しに際しては市民対話集会を開催し、市民が検討に参加する機会を設けます。



■ 各種調査の概要

調査	調査概要	実施時期*
市民アンケート調査	<p>調査目的： 市民の外出目的別の移動特性を把握する</p> <p>調査対象： 古賀市に在住の18歳以上の男女</p> <p>調査方法： 郵送配布・郵送回収（2000票）</p> <p>調査項目： 日常生活の外出動向（移手段、目的地、移動時間）</p>	7月～8月
市民アンケート調査 （二次調査）	<p>調査目的： 公共交通の利用割合が高い層を対象に、実際の公共交通の利用状況や利用上の問題点・課題を把握する</p> <p>調査対象： 公共交通の利用割合が高い層（年代、エリア）</p> <p>調査方法： 郵送配布・郵送回収（1000票）</p> <p>調査項目： 公共交通の利用状況（利用目的、利用する路線、便） 公共交通における利用上の問題点・課題 等</p>	8月～9月
バス乗降調査	<p>調査目的： ICカードのデータからはわからない利用者の属性、利用の目的・頻度、乗り継ぎの状況等、詳細な利用実態を把握する</p> <p>調査対象： 西鉄バス、コガバスの利用者</p> <p>調査方法： 調査員がバスに乗り込み利用者に調査カードを配布・回収</p> <p>調査項目： 利用者の属性（年齢、居住地）、利用目的、利用頻度、乗り継ぎ実態、乗車・降車バス停 等</p>	9月～10月
交通結節点調査	<p>調査目的： 広域交通と市内交通の乗り継ぎが重要となる本市において、交通結節点における乗り継ぎの問題点・課題を把握する</p> <p>調査対象： 市内交通と鉄道・広域バスなどとの交通結節点となるバス停</p> <p>調査方法： 現地踏査</p> <p>調査項目： 立地状況や周辺交通状況による影響、 待合環境（ベンチや風除け、上屋、案内などの設置状況） 等</p>	8月
交通事業 ヒアリング調査	<p>調査目的： ①交通事業者との意見交換、情報共有を図り、公共交通の現状・問題点を把握する ②交通事業者のリソース・意向を確認し、実現可能な施策を立案する</p> <p>調査対象： 西鉄バス、古賀タクシー</p> <p>調査方法： 直接訪問による聞き取り</p> <p>調査項目： ①事業者として把握している公共交通の利用実態、 運行上での問題点・課題 等 ②リソース（車両数・乗務員数・稼働状況等）、 施策案に対する意見・意向 等</p>	①7月 ②12月
庁内ヒアリング調査	<p>調査目的： 庁内関係各課の施策方針における公共交通に求められる役割を把握する</p> <p>調査対象： 庁内関係各課</p> <p>調査方法： 庁内関係各課を招集し意見交換</p> <p>調査項目： 上位・関連計画に位置付けた施策の実施状況、 今後の施策の予定・展望、公共交通に求める役割 等</p>	9月

※調査時期は業務の進捗状況により前後する